

「健康都市づくりワーキンググループ」第1回会議 議事録

- 1 開催日時 平成27年9月1日(火) 13:30~15:10
- 2 開催場所 消防コミュニティ防災センター
- 3 出席者 委員：鈴木暉三弘、岡崎美季、田中清宜、村上明良、小原妙子、
渡邊照子、加藤彪、米今美智恵、大山由美、 以上 9名
(白石秀子、内田いより、加藤智彦、三木博喜、丹下笑子、三並保、
中原将貴、筒井ひとみ 欠席)

オブザーバー：秦榮子 以上 1人
(釜野鉄平 欠席)

新居浜市： 福祉部 岡部福祉部長、白石総括次長兼健康長寿戦略監
河野次長兼保健センター所長、伊達地域福祉課長
加藤介護福祉課長、高橋地域包括支援センター所長
井上国保課長、木戸保健センター主幹、
藤田介護福祉課副課長、近藤保健センター副所長、
長谷川地域福祉課係長、
佐々木地域包括支援センター係長、
山内保健センター係長、横山国保課係長
教育委員会事務局 曾我部スポーツ文化課長
守谷スポーツ文化課係長
企画部 佐々木総合政策課主査 以上 17名

4 傍聴人数 2名

5 議事録

白石戦略監

お待たせいたしました。定刻がまいりましたので、ただいまから平成27年度「健康都市づくりワーキンググループ」第1回会議を開催いたします。

私は、本ワーキンググループの事務局であります福祉部総括次長兼健康長寿戦略監の白石でございます。

全体進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様には、本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本ワーキンググループは、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき、原則公開することとしておりますので、事前に開催日時などを市民にお知らせし、傍聴を認めること、また、会議の開催結果について議事録などを公表することといたしておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

それでは、第1回会議の開催に当たりまして、岡部福祉部長からごあいさつを申し上げます。

岡部福祉部長

<あいさつ>

白石戦略監

ありがとうございました。

続きまして、本日が今年度はじめての会議となりますので、ご出席の委員さん、オブザーバーの方の自己紹介をお願いしたいと思います。お手元に委員名簿をお配りしておりますので、名簿の順に、鈴木座長さんからお願いいたします。

委員
オブザーバー

<委員、オブザーバー自己紹介>

白石戦略監

ありがとうございました。本日欠席の委員さんが、8名おられます。民生児童委員協議会の白石委員、女性連合協議会の内田委員、歯科医師会の加藤委員、老人クラブ連合会の三木委員、スポーツ推進委員協議会の丹下委員、連合自治会の三並委員、青年会議所の中原委員、公募委員の筒井委員が本日欠席ですので、ご報告いたします。なお、オブザーバーには、もうおひとり、聖カタリナ大学人間健康福祉学部の釜野先生がおられますが、本日は欠席でございます。

続きまして、本日出席しております事務局職員から、自己紹介をいたします。

事務局職員

<事務局職員自己紹介>

白石戦略監

それでは、ここからの議事の進行につきましては、鈴木座長をお願いしたいと思います。鈴木座長、よろしくお願いいたします。

鈴木座長

新居浜市社会福祉協議会会長の鈴木でございます。

7月に開催されました「新居浜市政策懇談会」におきまして、本ワーキンググループの座長に指名いただきました。各委員の皆様方のご協力をいただきながら、今後この会議を円滑に進めてまいりたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

本年度第1回目の会議でございます。これまでの経緯について簡単に説明させていただきます。

本ワーキンググループは平成26年4月23日に開催されました平成26年度第1回「新居浜市政策懇談会」において設置されました。各種関係団体から推薦をいただいた16名の委員と公募委員1名の計17名で組織いたしております。

また、事務局は新居浜市関係各課の職員17名で組織いたしております。

本ワーキンググループの活動のテーマは、「健康寿命延伸に向けた取組」となっております。

昨年度は、健康寿命を延ばすための具体的な取り組みとして、「生活習慣病対策」「食育の推進」「高齢者の社会参加の促進」「高齢者の生きがづくりと介護予防の充実」「生涯スポーツの推進」の5つのテーマを設置し、5回の会議を開催し、テーマごとに課題を整理しながら、それぞれの課題に向けた取り組みを提言としてまとめていただきました。

今年度におきましても、健康長寿社会実現のため、市政課題解決の具体的な施策を立案し、「新居浜市政策懇談会」へ提案することといたしておりますので、委員のみなさまのお知恵をいただきながら、具体的なアイデアを取りまとめてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、お手元の次第に従いまして、議事を進めてまいります。

本ワーキンググループの「会議の進め方（スケジュール）」につきまして、事務局から説明いたします。

白石戦略監

お手元にお配りいたしております「資料1」をご覧ください。

本ワーキンググループの役割について、ご説明いたします。

高齢化の進展とともに、高齢者介護や、高齢者医療が社会問題となっておりますが、これらの問題を解決するために、健康寿命を延ばすということを本市の大きな政策課題として捉えております。

この課題解決のための具体的な取り組みとして、座長からもお話もありましたように、生活習慣病対策、食育の推進、高齢者の社会参加の促進、高齢者の生きがづくりと介護予防の充実、生涯スポーツの推進などに取り組むことによって健康長寿社会の実現を図ろうとするものでございます。

このため、本ワーキンググループでは、「健康長寿社会の実現」のための効果的な具体的施策・事業を、昨年度に引き続き立案していただき、協議結果をまとめて、新居浜市政策懇談会へ提案することといたしております。

次に、会議の進め方、今後のスケジュールでございますが、

10月までの間に、本日の会議を含め3回の会議を開催し、解決に向けたご意見やアイデアを取りまとめてまいります。

1回目の本日は、平成26年度政策懇談会からの提言に対する対応状況につきまして、事務局から、ご説明いたします。

そして2回目の会議は、9月下旬から10月上旬を予定いたしておりますが、昨年度検討できていない項目、「高齢期」を対象とする新たな取組、「壮年・中年期」「青少年期」を対象とする取組につきまして、ご意見をいただき、協議いただきたいと思いますと考えております。

そして、第3回の会議は、10月下旬を予定いたしておりますが、政策懇談会へ提案するためのまとめを考えております。

本ワーキンググループからご提案いただいた事業を、新居浜市の平成28年度当初予算に反映させてまいりたいと考えておりますので、タイトなスケジュールとなっておりますが、よろしく願いいたします。

以上でございます。

鈴木座長

ただ今、事務局から説明がありましたが、ご質問がありましたらお受けしたいと思います。

ご質問はございませんか。

質問がないようでしたら、事務局からの説明にありましたように、今後ワーキンググループの会議をすすめることにいたしますので、委員の皆さん、よろしく願いいたします。

それでは、次の議題「平成26年度政策懇談会からの提言に対する対応状況」についてに移ります。昨年、このワーキンググループでまとめた提言内容を基に、政策懇談会から市長に提言書として提出しております。12項目と項目数がたくさんありますので、区切りながら進めてまいります。まず、(1)健康ポイント助成事業(2)ウォーキング推進事業(3)がん検診等(4)食育推進事業につきまして、事務局から説明いたします。

保健センター
河野所長

失礼いたします。まず資料2の(1)健康ポイント助成事業の資料の方から、お願いいたします。

(1)健康ポイント助成事業、(2)ウォーキング推進事業につきましては、健康に対する市民の意識改革の推進の具体的施策として取り組んでおりま

す。

まず、健康ポイント助成事業ですが、資料に事業の概要をまとめております。

この事業は、市民の健康づくりに関する取り組みに、ポイントを付与することにより、市民の健康づくりに対する関心を高めると共に、市民総ぐるみの健康づくりの促進と、健康生活の定着を目的として支援する事業です。

ここに纏めております事業概要につきましては、8月4日に開催致しました健康都市づくり推進協議会で御審議いただきまして、現在は10月1日の開始に向け、準備を進めているところでございます。周知方法は、ホームページ、10月号の市政だより等で図ってまいります。

事業の内容ですが、対象者は18歳以上の市民で、ポイント対象事業は、次のページに一覧表にして纏めておりますが、大きく分けて、運動の実践、生活習慣改善の実践、健康づくり事業の参加の3つの項目が対象となります。

運動の実践は、必須項目として事業の参加申込み時にウォーキングか体操の目標を設定して、日々の生活でのチャレンジに対してポイントを付与します。検診や健康講座など健康づくり事業への参加は、健診や市が主催又は共催する健康づくりに関する事業への参加に付与します。

ポイントの設定ですが、1ポイントにつき1円として、この表の項目ごとに獲得ポイントを書いておりますので御参照ください。

健康づくりの実践の記録は、申込時にお渡しいたします、「にいほま元気ポイント手帳」に、日々の実践内容や参加ポイント数を自分で記録します。400ポイント以上でポイントの交換の申請ができます。

ポイント交換は、対象事業の次のページに書いてありますが、運動施設などの利用券や図書カードとの交換や、社会貢献として小中学校や幼稚園、保育園に図書カードとして寄付することもできます。

以上のような内容で、10月1日から円滑にスタートできますように準備している状況です。

次に、(2)のウォーキング推進事業について説明させていただきます。資料をお開き下さい。

この事業も、市民全体に健康づくりを啓発するシンボリックな事業として、誰でも気軽に取り組めるウォーキングの普及を図り、運動習慣の定着を図ることを目的として取り組んでおります。

この事業は、健康都市づくり推進員が中心となって、企画・検討を重ね、ウォーキング大会の運営をしております。資料に、今年度の年間予定表と実施要領を掲載しておりますので御参照ください。今年度は、7回10コースを計画し、市政だよりやチラシの配布、推進員さんの活動で周知を図ってお

ります。これまでの参加状況ですが、第1回目は75名、第2回目は80名でした。第3回目は87名の申込みがありましたが、残念ながら雨のため中止となりました。今後の開催は、4回7コースを予定しております。

次に、(3)「がん検診等」をお願いいたします。がん検診では、生活習慣病対策の推進の具体的な施策として、がん検診の自己負担金の無料化による受診率向上に取り組んでおります。

がんは、新居浜市におきましても、死亡順位の第1位を占めております。がん検診は、がん死亡率を減少させるための重要な方策の1つですので、がん検診の受診率を向上させ、早期発見早期治療することと、がんを予防する生活習慣の定着がきわめて重要となります。

これまでも、受診啓発や受診体制の工夫など、様々な受診率向上に繋がる取り組みを進めてまいりましたが、依然として低い状況が続いておりますので、まずは、受診行動に繋がりがやすい「きっかけ」として、今年度から、がん検診の自己負担額を無料化致しまして、一人でも多くの方に受けていただけるような体制にいたしました。また、検診受診は、健康づくりポイント対象事業にもなっておりますので、さらに受診行動に繋がるのではと思っています。

今年度のこれまでの受診状況ですが、今までに17会場が終了していますが、昨年度と同じ時期と比較すると、お手元の資料に、各検診の受診者数の比較表を書いておりますが、延べ受診者総数では、約1.9倍となっておりますので、今後も効果的な受診啓発に取組み、がんの早期発見・早期治療に繋がっていきたいと考えています。

次に、(4)の「食育推進事業」ですが、食育の推進につきましては、子どもから高齢者までを対象に、地域に密着した食育活動を実践されている食生活改善推進協議会の御協力により推進しておりますが、提言に対する具体的な対応状況につきましても、拡充した事業6項目、このページに纏めておりますが、すべて食生活改善推進協議会との連携協力のもと推進しております。

まず、1項目目「笑顔あふれるレシピ集の作成・普及啓発」ですが、写真を次のページに掲載しております。生活習慣病予防のためのメニューや、バランス食や郷土料理などのレシピを纏めたレシピ集を1000冊作成し、ここに書いてあります多くの機会を利用して子育て世代から幅広い世代に配布し、普及啓発しております。

2項目目の「リーフレットレシピの作成・普及啓発」ですが、これも、次のページに写真を掲載しておりますが、生活習慣病予防のためのメニューなど、季節に応じたメニューを「レシピ集」から抜粋し、リーフレットにして、市内のスーパーマーケット等15か所に設置したケースに、食生活改善推進員

さんが季節ごとにメニューを更新し、広く市民に配布する予定にしております。

3項目目の「子育てママ応援食育推進事業」は、毎月1回行っております3歳児健診に併設して食育の啓発をしております。

4項目目の「食生活改善実践ガイドの作成・普及啓発」ですが、ライフステージの特徴に合わせた生活習慣病予防のための実践ガイドを、1000冊作成し、子育て世代に普及啓発を行う計画で、現在準備を進めているところでございます。

5項目目の「食生活改善推進業務委託事業」は、食生活改善推進協議会に委託いたしまして、生活習慣病予防をテーマに、6月～7月の間、37回開催致しまして、744人の参加がありました。

6項目目の「減塩推進事業」は、市民が自分の塩分摂取量を知り、目標量を達成できるように働きかけることで、新居浜市の高血圧症を減少させることを目的として、子育て世代、壮年、高齢期世代を対象に減塩の普及啓発に取り組んでいます。

以上で、健康ポイント助成事業、ウォーキング推進事業、がん検診等、食育推進事業についての説明を終わります。

鈴木座長

ありがとうございました。只今事務局から4項目についての説明がありました。何か御質問がありましたらどうぞ。

渡邊委員

食生活改善推進協議会の渡邊でございます。質問ではありませんが、食改として協力している事業につきまして、保健センター事業に協力をしながら、ただチラシを配ったり市政だよりに掲載するだけでなく、がん検診の呼びかけでも口コミによる呼びかけが大切ですので、会員を通じて啓発できるよう協力しております。先ほどのリーフレットレシピや献立集等につきましても、若いお母さんたちにも興味を持っていただき、一声かけながら配ることが大事なことだと思っております。リーフレットレシピを配るのはこれからですが、スーパーなどへの依頼や管理については食改として協力していきたいと考えております。

鈴木座長

ありがとうございます。啓発はペーパーだけでなく口コミが大切だという御意見もいただきました。これは、今までのやり方としては口コミとかはあまりされていなかったのでしょうか？

保健センター

これまでも、食生活改善推進協議会さんや健康都市づくり推進員さんを

河野所長	中心に保健センターで知識を深めていただき、日頃の地域活動の中で地域の方皆様に口コミで広めていただいて、健康づくりを進めていただいています。
秦オブザーバー	私は全国いろいろな所に行っておりますが、健康ポイント助成事業にしろ、このように新居浜市は市民の健康づくりをしっかりと考えていただいております、保健センターを中心に我々の団体をうまく活用されて連携を共にしながらやっております。その中で行政が、リーフレットレシピの作成や献立集の増刷など、予算のない中で御協力していただきましたことに対しまして、この場をお借りいたしまして感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。
鈴木座長	ありがとうございました。行政の活動についても評価をいただいたということでございます。
岡部福祉部長	がん検診の受診率が無料化したということで、昨年度と比較して平均で1.9倍になったという説明がありましたが、私は個人的にはそれほど受診率が上がるとは最初は思っていませんでした。どのような取り組みをされたのでしょうか。先ほど渡邊委員さんが言われたように、口コミも含めた中で誘い合わせて受診率が上がったのか分ければ、教えていただきたいと思います。
保健センター 河野所長	がん検診の受診率向上に向けての取り組みにつきましては、これまでも企業に回って啓発したり、あらゆる事業で啓発したり、対象を絞ったり年齢を絞ったりしながら対象に合わせた啓発をしてまいりましたが、今年度は今までの啓発方法に加えて往復はがきによる受診勧奨をしております。40歳から45歳まで、60歳から65歳までの方に往復はがきを個別通知しまして、申込みを取らせていただいております。返信はがきによる申し込み、申込みない方にはその理由を御記入いただきまして、次の啓発に繋がるようにしておりますが、往復はがきの返信率もかなり多い状況です。また、泉川校区では今年度モデル事業としまして自治会回覧での御協力をいただいております、あらゆる手段で、また来年度に繋がるような啓発の検討を重ねているところです。そのような個人的な働きかけや食生活改善推進員さんによる働きかけなど、いろいろと御協力いただき啓発をしていくことで現在のような受診率の向上に繋がりがつつあるのではないかと考えております。
鈴木座長 保健センター	これは目標率、達成率はありますか。 第2次元気プラン新居浜21の中では、受診率を40%、乳がん、子宮が

河野所長 んに関しましては50%を目標としていますが、なかなか無料化して初年度にそこまで受診率を持っていくことは難しいと考え、昨年より10%増を目標としております。

鈴木座長 ありがとうございます。
検診によって早期発見、早期治療は本当に大切なことだと思いますので、委員の皆様も口コミで検診が無料であることをお知らせいただきたいと思えます。

米今委員 新規事業についてですが、健康づくりポイント事業は新規事業だと思うのですが、昨年私も先進地視察に行かせていただきました。その時強く感じたことは、新規事業に対する取組みは本当に大変なことだと思うのですが、資料を見させていただく限りでは申込み窓口は、保健センターと国保課となっていますが、準備室とか専門の室とかは立ち上げていないのでしょうか。

保健センター
河野所長 ありがとうございます。豊岡市では準備室ができていますが、新居浜市は保健センターが担当課ということで、限られた職員で頑張っており取り組んでおります。

米今委員 この事業はたいへん細かい労力のいるポイント制だと思いますので、せっかく始めるのでしたら長く続けられる形で立ち上げていただきたいと思えます。そのためには人の力が必要だと感じましたので、保健センターはいろいろなことをされていて大変だと思いましたので、これからのことを考えて意見を言わせていただきました。

鈴木座長 事業を一つのセクトでやらないといけないのは、大変だと思います。色々な分野に広がって、こういう事業がもっと発展していき、参加者が多くなって健康が増進していくことが大切だと思います。もちろんリーダーシップを取るところは必要だと思います。
次に（5）シニアクラブ活動支援事業と（6）シルバーボランティアポイント助成事業について、事務局からご説明をお願いします。

介護福祉課
藤田副課長 （5）シニアクラブ活動支援事業のうち、1ノルディック・ウォーキング大会の実施についてご説明いたします。
昨年度、新居浜市政懇談会健康都市づくりワーキンググループにおいて、健康長寿社会実現のための施策について検討した結果、市民全体に健康づく

りを啓発するシンボリックな事業として、誰でも気軽に取り組めるウォーキングの普及を図ることとなりました。

新居浜市老人クラブ連合会では、この提言に賛同し、特に高齢者の健康維持に効果的で安全性の高いノルディック・ウォーキングに、市民に先駆けて取り組み、健康都市づくりのけん引役となる方針を決定し、本市におけるノルディック・ウォーキング普及活動の第一歩として市老連主催により大会を開催することにしました。

事業内容といたしましては、

- ①開催日 平成 27 年 11 月 11 日（水）※雨天等の予備日 11 月 12 日
- ②開催場所 山根市民グラウンド 集合
- ③主催 新居浜市老人クラブ連合会
- ④共催 新居浜市 後援：愛媛県（予定）
協賛団体 全日本ノルディック・ウォーキング連盟
一般財団法人地域活性化センター
- ⑤実行委員長 新居浜市老人クラブ連合会 会長 沖 則文
- ⑥参加方法 参加申込書に必要事項記入のうえ老人クラブ連合会事務局に提出
- ⑦参加費 無料（昼食弁当を希望される方は 500 円徴収）
- ⑧日程 10：00～ 開会行事
10：15 歩行講習 全日本ノルディック・ウォーキング公認指導員
10：40 歩行開始
- 《コース》 山根市民グラウンド出発～別子ライン～青龍橋（ループ橋）～鹿森ダム（折り返し及び休憩地点）昼食～別子ライン～山根市民グラウンド到着 コース距離約 10 km
14：00 閉会式 完歩者に完歩証明書授与

となっております。

今後期待される効果といたしましては、この新たな大会の取組により、高齢者発信による健康長寿社会実現への気運が盛り上がることを期待されております。また、老人クラブ会員の役割と活動の場が確立できることで組織活性化につながり、ひいては近年減少傾向にある加入クラブ数及び会員数の増強が見込まれます。

参加者にとっても、この大会参加をきっかけに、健康に関心を持ち、自身の健康維持に効果的で安全性の高いノルディック・ウォーキングなどを通じた健康づくりに継続的に取り組むことが期待できます

次に、2 生きいきシニア合唱団事業についてでございます。この事業は、

9月補正に計上している事業でございます。

事業概要といたしましては、市老人クラブ連合会女性部が中核となり「生きいきシニア合唱団」を結成し、専門家の指導のもと、昔から慣れ親しんできたジャンルの音楽を楽しく学ぶことで、合唱団員相互のコミュニティの高揚を図り、健康と生きがいをづくりに取り組む事業でございます。

今後の取組といたしましては、練習の成果としてレベル向上が図られましたら、介護施設などを慰問し、合唱を披露するだけでなく、聞く側の方々にもカスタネットなどの簡単な楽器で伴奏を手伝っていただくなど、慰問会場の全員が楽しく参加できるような音楽療法に期する活動を、展開したいと考えております。

今後期待される効果としては、この予算は9月議会に計上しておりますので、議決をいただければ、元気な高齢者が多数参加して合唱団活動することで、生きがいをづくりや仲間づくりが促進されることが期待できます。また、高齢者相互の連帯感が生まれ、単位老人クラブへ合唱団活動効果が波及することで、地域コミュニティの強化が期待できる事業でございます。

次に、(6) シルバーボランティアポイント助成事業について、ご説明させていただきます。

事業概要につきましては、昨年度から新居浜市が取り組んできた介護施設などでボランティア活動を行うとポイントが貯まり、そのポイントを交付金へ換金することができる事業（介護支援ボランティア事業）に加え、在宅高齢者宅でのボランティア活動や地域活動に対してもポイントが付与されるよう事業を拡充して、今年10月からシルバーボランティアポイント助成事業を開始するものでございます。

実施内容といたしましては、

- (1) 対象者 新居浜市在住の65歳以上の方で要介護認定及び要支援認定を受けていない方
- (2) 活動場所 ・ボランティア受入れ登録をしている新居浜市内の施設
・地域包括支援センターが必要と認める高齢者宅及び地域の活動場所
- (3) 活動内容 ・介護施設などでのボランティア活動
・在宅高齢者宅でのボランティア活動
・地域活動
- (4) 活動すると 活動内容に応じてポイントを付与して、100ポイント＝100円に換金し、年間5,000円を上限に交付する。
- (5) その他 交付金への換金だけでなく、施設利用券への交換や子

どもたちへの寄付もできることとする。

といたしております。

事業実施により、今後期待される効果としては、元気な高齢者が、高齢者を支えるという仕組みを構築することで、お互いが、気軽に助け合い、声を掛け合うことができる温かい地域コミュニティづくりに寄与することができ、また、引きこもりがちな高齢者に対して社会参加の動機づけとなることも期待しております。事業につきましては、10月号の市政だよりで周知してまいります。

鈴木座長

ありがとうございました。(5)シニアクラブ活動支援事業と(6)シルバーボランティアポイント助成事業についてご説明いただきました。
何かご質問はありませんか。

渡邊委員

質問ではないですが、説明に付け加えて、老人クラブの女性部を中心に食生活改善推進協議会に5つの支部を作っていたいただき、元気高齢者を増やすために、健康の基本である食べることについて勉強したいと、明石部長を中心に、大変熱心な活動をしていただいていることをご報告させていただきます。

村上委員

ノルディック・ウォーキングは、大変いい取組だと思います。先ほどご説明いただいた健康ポイント助成事業などに加味してはいかがでしょうか。

介護福祉課
藤田副課長

ありがとうございます。先ほどの資料の健康づくりポイント対象一覧表の一番下のところ、その他健康づくり事業の中に入れるようにしております。同じ趣旨の事業でございますので、市民の方にわかりやすいように、ポイントの付与の仕方も揃えております。

村上委員

生きいきシニア合唱団事業についても、女性部の合唱団の取組は大変いいと思います。これを男性にも広げてはいかがでしょうか。みんなと一緒に歌いたいと思われる男性も多いと思います。

介護福祉課
藤田副課長

はい、ありがとうございます。そのように活動が広がっていけばいいと思っています。

大山委員

ノルディック・ウォーキングというのは、先進地などでは、普通の道で歩いているのですか？

介護福祉課
藤田副課長

はい。先進地というのは、県内で言えば、松山市、次に新居浜市というところですね。ポールが溝などに挟まってしまうと危険ですので、危険のないように歩けるように、歩く場所についても、ウォーキングの前に講習会をどんどん実施している最中でございます。危険のないように行ってきたいと思います。

大山委員

シルバーボランティアポイント助成事業についてです。在宅高齢者へのボランティア活動は、地域包括が必要と認めた高齢者とお聞きしましたが、ボランティアしたいと思われる方は、どうやって情報を得るのですか？

地域包括支援
センター
高橋所長

まず、広報活動は市政だよりなどで行っていきます。地域包括支援センターにご相談に来られた高齢者の方で、ゴミ出しや電球の取り換えなど、ちょっとした手助けがあれば在宅での生活を続けていける方の生活を支援したいと思います。そういうボランティアさんと、希望者のマッチングを行ってきたいと思います。

大山委員

社協のボランティアセンターが持っている、個人ボランティアとのマッチングは考えているのですか？

地域包括支援
センター
高橋所長

当然、社協でボランティアをされている方たちも、このシルバーボランティアの対象である65歳以上の方は、こちらにも登録していただくようにして、社協と協力して進めたいと思います。

秦オブザーバー

ウォーキング事業で健康づくりに取り組んでいただいて、ありがたいと思います。徳島では元気で長生きするために、100歳運動というのを全家庭で取り組んでいるそうです。新居浜市の元気体操も、誰でもどこでもすぐできる体操ですので、ウォーキングとともに、ぜひ新居浜市内で取り組んでほしいと思います。

鈴木座長

ありがとうございました。今のご意見も参考にさせていただけたらと思います。

次に、(7)介護予防プログラム開発事業(8)健康長寿地域拠点づくり事業(9)認知症高齢者地域支え合い事業(10)地域の健康長寿づくりを総合的に担うコーディネーター配置についての検討につきまして、事務局から説明いたします。

地域包括支援
センター
佐々木係長

介護予防プログラム開発事業について説明いたします。

この事業は、高齢者の筋力低下を防ぎ、生活機能の維持、向上を図るために、地域や家庭で取り組むことができるプログラムを開発し、住民の方が自ら実施できるように支援するものです。

住民の方が主体的に取り組むための技術的な支援については、国の「地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業」を活用します。

実施内容ですが、運動プログラムの開発と、周知啓発のためのDVD等の作成、できたプログラムを使って住民の方が主体的に取り組むための支援を行います。

現在までの進捗状況ですが、介護予防プログラムについては、愛媛県理学療法士会に委託して、8月から定期的に会議を開いて内容を検討しております。周知啓発用の媒体の作成については、株式会社ハートネットワークへの委託を検討しております。住民の主体的な取り組みについては愛媛県介護予防支援委員会の支援を受けているのですが、7月にヒアリングがあり、県主催の「地域づくりによる介護予防推進支援事業研修会」にも出席し、国のアドバイザーとの話合も行っております。

今後の予定ですが、介護予防プログラムは今後も月2回程度愛媛県理学療法士会と協議を進め、10月頃にプログラムの試験運用をし、1月の完成を目指しています。プログラムの完成と前後してDVD等の作成に取り組み、3月の完成を目指します。

住民の方の主体的な取り組みについては、明日になりますが、9月2日に岡山県の津山市に先進地視察に行っておりまいます。そこでの取り組みを参考にしながら、アドバイザーの支援を受けて今年度中にモデルとなる住民グループへのプレゼンテーションを実施したいと考えております。

続いて、健康長寿地域拠点づくり事業について説明いたします。

この事業は、住民の方が主体的に自治会館等を活用した通いの場を作り、高齢者が健康づくりや仲間づくりに取り組めるよう、グループ作りなどの技術的支援を行うものです。また、それに必要な備品等も整備します。離島のため地理的条件が悪く、介護や福祉サービス等を提供する社会資源がない大島地区においては、川東高齢者福祉センター大島分館を健康長寿地域拠点として整備します。

実施内容ですが、今年度はモデルとして日常生活圏域ごとに1から2か所の拠点を立ち上げる予定としています。大島地区については、川東高齢者福祉センター大島分館を活用してデイサービス事業を委託にて実施します。

現在までの進捗状況ですが、自治会の説明会をまず5月に校区連合自治会三役会で説明した後、各校区連合自治会長に個別で事業の説明をし、その後、

単位自治会に向けて説明をしております。自治会によっては、支部社協さんや老人会さんにも説明をということで、複数回説明させていただいている自治会もあり、今まで25回ほど説明に行っております。

拠点の開催状況ですが、神郷校区連合自治会からの申込により、田の上自治会館にて8月から開催しております。支援事業者は新居浜医療福祉生活協同組合です。大島校区については、川東高齢者福祉センター大島分館にてすいよう会に委託して、デイサービスえびすやを週2回運営しております。

今後の予定ですが、自治会の説明会が中萩校区、角野校区で予定しております。また今後の開催予定ですが、多喜浜校区連合自治会からは白浜自治会館にて9月開催の予定、金栄校区連合自治会からは金栄よりみちにて9月開催の予定となっております。開設時期が当初の予定より遅くなりましたが、開設の検討中を含めて、今年度5か所の立ち上げを見込んでいます。

平成28年2月には今年度立ち上がったモデルの拠点及びその他の自治会にも呼び掛けて情報交換会を実施する予定です。次年度以降は自主運営となるよう支援しますが、リーダーの育成が必要になりますので、県のアクティブシニア介護ボランティア養成・活用事業を活用して、リーダーの育成も行う予定としています。

地域の健康長寿づくりを総合的に担うコーディネーター配置についてご説明します。

健康長寿コーディネーターは、健康づくりや介護予防を推進する関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながらコーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制整備に向けた取り組みを推進することを目的としています。また、健康長寿コーディネーターの業務を補完し、地域課題を協議するために協議体も設置します。

コーディネーターの配置と協議体の設置については、例えば市全体を総括する役割としてのコーディネーターを置いて、各校区には校区単位で活動するコーディネーターを公民館に配置するということも考えられるかと思いません。協議体については市全体では地域包括支援センター運営推進協議会、各校区では地域ケアネットワーク推進協議会等を充てることも考えられるかと思いません。

配置の時期ですが、今年度中に準備会を設け、関係課所と協議して平成28年度に協議体を設置し、先進自治体の事例等も参考にしてコーディネーターの配置に向けた具体的な協議や制度設計を行い、平成29年度までに設置を予定しています。

鈴木座長	次に、(11) 高齢者就業機会拡大推進事業補助金につきまして、事務局から説明いたします。
白石戦略監	<p>高齢者就業機会拡大推進事業につきましては、新居浜市シルバー人材センターで事業実施をしていただいております。</p> <p>事業目的は、高齢者に就業と社会参加の機会を付与し、生きがいの充実と地域社会の発展に貢献することです。</p> <p>事業内容は、就業開拓員1名を配置し、就業開拓員が企業や個人宅を訪問することによって会員のための新たな就業機会を創出すること。また、仕事がしたいと思う高齢者が新規会員になるよう勧誘し、高齢者のための生きがいつくりを寄与することです。</p> <p>予算額は、150万円で、就業開拓員の人件費の補助となっております。</p> <p>事業実績につきましては、平成27年4月1日から7月31日までの新規入会者60名中25名の就業機会を創出していただいております。主な就業内容は、四国物産での運転業務、イオンモール新居浜でのショッピングカート回収、介護施設での洗濯、事務所の清掃、個人宅の除草・草刈・剪定等です。</p> <p>なお、会員数は、平成27年3月末現在で918名、平成27年7月末現在で928名という状況です。新規入会が60名おられますが、退会された方が50名いらっしゃいます。退会の理由につきましては、入会したものの、仕事とのマッチングにつながらない等で退会される方がおられるとお聞きしております。</p>
鈴木座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から説明がありましたが、ご質問・ご意見ございませんか。</p>
米今委員	退会の理由についてですが、マッチングの問題だけでなく、会員の高齢化が進んでいることが一番の退会理由となっております。全国のシルバー人材センター会員100万人体制を目指しているが、入会者が少ないのが問題となっている。行政とタイアップして、新規会員の増に努めたいと考えています。
鈴木座長	次に、(12) 健診データ等の活用による効果的な保健事業の実施につきまして、事務局から説明いたします。
国保課 横山係長	国保課では平成20年度より、40歳から74歳の国保加入者を対象に、特定健康診査・特定保健指導を実施しております。受診率アップを目指して未

受診者対策に取り組んでいますが、平成 25 年度受診率は 27.7%と、まだまだ低い状況です。健診を受けて頂くことで、生活習慣病予防のための保健指導を必要とする人を見つけることができるため、引き続き健診の必要性を普及啓発し、受診を勧めて参りたいと思います。

健診データ等の活用による効果的な保健事業の実施についてですが、内臓脂肪の蓄積により、血圧高値、血糖高値、脂質異常等の危険因子が増え、リスク因子が増加するほど虚血性心疾患や脳血管疾患等を発症しやすくなることから、生活習慣の改善で、糖尿病等の生活習慣病の予防が期待できるメタボリックシンドロームに着目した特定保健指導を実施しています。それに加え、メタボリックシンドローム非該当者に対しても、検査値や受診状況等により必要な支援をし、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組んでいます。

下の図は、HbA1c の検査値毎の取り組みを示しております。

HbA1c 6.4 以下の人は、発症予防の対象者であり、健診結果の説明や検査値に応じた生活改善の支援、必要な人には生活改善後の再検査を勧めたりしています。

HbA1c 6.5 以上の人は、重症化予防の対象者であり、医療機関への受診勧奨も行っています。受診勧奨した人には、後日受診できたかどうか確認し、検査データの改善に結びつく支援に努めております。③の治療中でコントロール不良者に対しては、治療中断や服薬中断の有無等治療状況や生活実態を把握し、必要な情報提供や保健指導を今後行う予定です。糖尿病重症化予防教室では、現在 29 人が参加され 4 か月間コースを学習されています。

また、市民を対象に医師による糖尿病予防講演会を、11 月 20 日に開催予定です。

次のページに資料としてありますデータヘルス計画ですが、現在策定中です。医療、健診、介護等のデータを活用し、地域の特性や健康課題を把握し、PDCA サイクルに沿った生活習慣病等の発症や重症化予防等の保健事業の実施及び評価を行う予定です。

参考で保険者協議会について載せてありますが、今後、県内の保険者が共通認識を持ち、健康づくりの推進等について統合的な対応を行うこと、特にデータヘルスの推進や保険者間での課題の共有とそれに基づく取組の推進を図る必要から、保険者協議会が設置され、今後具体的な事業内容については検討されていく予定です。

鈴木座長

ありがとうございました。

事務局から「平成 26 年度政策懇談会からの提言に対する対応状況」につ

いて、説明がありましたが、昨年度は、「高齢期」を対象にしぼって検討を行いました。今年度のワーキンググループでの、協議の進め方について、事務局から説明をお願いします。

白石戦略監

事務局から、昨年度の政策懇談会からの提言に対する対応状況を、説明させていただきました。

本来、健康寿命の延伸のためには、ライフステージに応じた取り組みが求められますが、昨年度は、「高齢期」を対象にしぼって検討いただきました。今年度は、「高齢期」を対象とする新たな取組や具体化できなかった事業、「壮年・中年期」「青少年期」を対象とする取組につきまして、協議いただき、「健康長寿社会の実現」のための効果的な具体的施策・事業を立案していただき、協議結果をまとめて、新居浜市政策懇談会へ提案してまいりたいと考えております。

健康長寿社会の実現のための効果的な具体的施策・事業の立案ということで、新規事業の立案ということもあります。また、これまで実施している施策・事業につきましても、不足している視点や縦割りの弊害をご指摘いただくなど、お気づきの点があれば、今後施策を実施していく中で改善してまいりたいと考えておりますので、どんなことでも結構ですので、ご意見をお伺いしたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

鈴木座長

ありがとうございました。

事務局から説明がありましたが、「高齢期」を対象とする新たな取り組み、や「壮年・中年期」「青少年期」を対象とする取組についてのご提言など、なんでも結構でございます。どなたからでも結構ですので、意見のある方はお願いいたします。

(意見なし)

鈴木座長

それでは、最後に、その他といたしまして、次回の日程をご協議いたします。事務局から説明をお願いいたします。

白石戦略監

会の冒頭にご説明いたしましたように、次回の会議は9月下旬から10月上旬を予定いたしております。

17名の委員さんが全員ご出席いただけるような日程調整は難しいと思っておりますが、9月28日(月)から10月2日(金)の間で、ご都合の悪い日がありましたら、あらかじめお伺いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

鈴木座長

それでは、皆様のご都合をお伺いいたします。

9月28日（月）から10月2日（金）までの間で、ご都合の悪い日がありましたら、おっしゃってください。

（各委員意見）

鈴木座長

委員の皆様には、改めてご案内の通知を差しあげますので、よろしく願いいたします。

本日は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

それでは、以上で「健康都市づくりワーキンググループ」第1回会議を終了いたします。

委員の皆様には、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

本日は、大変お疲れ様でした。